



三島町立三島中学校

桐の里だより

【教育目標】

心豊かな生徒、自ら学ぶ生徒、たくましい生徒

令和5年2月号 校長 鶴水 達也



ふるさと学習・桐の作品づくり

美術科の授業で、桐を使った木工製品づくりを行いました。今年度も町の支援をいただき、生活工芸館で木工指導員の指導を受けながら作業を行いました。世界に誇る三島の桐を扱っての作品づくりは、三島ならではの学習です。「ふるさと学習」として、ふるさとの良さや伝統を学ぶことができた三島っ子でした。「ふるさとと自分に誇りが持てる人づくり」につなげていきたいと思えます。



【3年生:小物入れ】



【2年生:デザインパネル・壁かけ】



【1年生:鍋敷き】



【木工指導員の丁寧な指導】



福は内！福は内！福は内！

「鬼は外！福は内！」と、2月2日に生徒会役員が中心となり豆まきを行いました。一生懸命で「かわいらしい鬼役」でした。

子どもたちから「余計なことに集中する鬼」「勉強ための鬼」など、退治したい心の鬼があげられていました。よく考えていると思います。

このように**伝統行事を大切にすることで、「ふるさと学習」につながる**ように、学びを深めて参ります。

笑顔ではじまり、笑顔で終わるスキー教室

2月3日に、金山町のスキー場で、1・2年生でスキー教室を行いました。子どもたちは、三島町スキークラブの方々の指導のもと、思いっきりスキーを楽しんでいました。先輩・後輩が合同で取り組むからこそ、運動の楽しさや良さを味わっていたようです。さらに、得意・不得意に関わらず、チャレンジする姿は頼もしかったです。さすが、三島っ子です。



ようこそ！新入生のみなさん！

「新入生(小学6年生)のみなさんに会えて嬉しく思います」と2月8日、4人の新入生と保護者のみなさんを対象とした新入生説明会を中学校で行いました。

当日は、中学1年生との体育の授業や校舎案内、全体説明会、部活動見学・体験を実施しました。その際、校長からは、以下のように、中学校で目指す生徒の姿を説明しました。

**自分の良さを知り 人とのつながりを大切にでき
自己の役割を果たし 計画的に行動できる生徒**

来年度、一緒に学校生活をおくれることを、中学生も教職員も楽しみにしています。

【校長の一言】ホームページ、定期的に更新中です。現在76、700閲覧(7月号発行時66、175閲覧)、7ヶ月間で10、500閲覧でした。記事への多数の「いいね！」もありがとうございます。